

改定内容・機能説明 (平成26年6月)

● Win-Road Ver. 6.40 (Ver. 6.24 以降の改定内容)

=== インストール前の注意事項 ===

※「改訂版」のインストールは、Win-Road Ver. 6. xx がインストールされていることを確認してから行ってください。

Ver. 6.00 からデータの構造を変更しているため、Ver. 6.00 よりも前の Win-Road へ直接「改訂インストール」を行うと **データの破損** 及び **Win-Road システムが破損** します。

※ Ver. 6.00 よりも前に作成したデータは、そのままでは使用できません。使用するにはデータコンバートを行う必要があります。詳しくは、インストールCD内の下記のPDFファイルを参照してください。

- ・[改定内容] フォルダの「Win-Road Ver. 6.00 改定内容」
- ・[Ver6_コンバーター] フォルダの「データコンバート操作マニュアル(Ver. 6.00)」

=== 修正・機能追加内容 ===


○ [ファイル] - [外部データ入出力]

・ [Win-Road DXF出力]

- ・文字サイズ・文字幅のどちらかに 0.0 が設定されたデータがあった場合、DXF変換でエラーが発生する事象を修正しました。

○ [現況 I/O]

・ [横断データ I/O]

- ・データ入力形式が「レベル方式」・「角度・勾配方式」だった場合、データの「全削除 ()」を行っても、稀にデータが消えない事象を修正しました。

・ [平面データ I/O]

- ・IP入力点数が、最大200点まで入力できるようになりました。

・ [平面取り合い計算]

- ・曲線1・2の初期設定で、「標準勾配」の設定も表示・修正できるようになりました。

○ [設計 I/O]

・ [側溝CAD]

- ・「メイン」・「ELデータ参照」・「%入力」各画面の表示位置・画面サイズを保持するようにしました。

○ [FH計画]

- ・データ編集時、稀に「計算」ボタンを押すとデータが消えてしまう事象を修正しました。

改定内容・機能説明 (平成26年6月)

○ [横断型入れ]

・ [自動型入れ]

- ・ [法面条件設定] - [法面勾配条件の設定] の、
 - ・ 縦方向の画面サイズの変更を可能にしました。
 - ・ 「1 : Z」の入力を下2桁にしました。

#	岩線	1:Z	高さ	ステップ*1	勾配1	トラフNo	ステップ*2	勾配2
1		1.00	7.000	1.50	5.00	0	0.00	0.00
2		1.20	7.000	1.50	5.00	0	0.00	0.00
3								
4								
5								

最後の段の法高が 2.000 m以下の場合小段をつけない。

#	-	1:Z	高さ	ステップ*1	勾配1	トラフNo	ステップ*2	勾配2
1		1.50	5.000	1.00	0.00	0	0.00	0.00
2		1.80	5.000	1.00	0.00	0	0.00	0.00
3								
4								
5								

※ 切土法条件の「指定値以下の場合小段をつけない」は、設置条件が 1, 4, 5, 6の時にのみ有効です。

・ [型入れ条件設定] - [土工定規の区間設定] の、

- ・ 入力行数を、150行 ⇒ 300行に増加しました。
- ・ 縦方向の画面サイズの変更を可能にしました。
- ・ [L・R・E]選択ボタンを追加しました。(①)

※カーソルが[L・R・E]入力欄にある時のみ使用可能です。

※[L・R・E]入力欄にカーソルがある時にボタンをクリックすると、選択したボタンの文字がセットされます。

- ・ 定規一覧ボタンを追加しました。(②)

※カーソルが[定規 No.]欄にある時に定規名称をクリックすると対象の定規番号がセットされます。

※一度表示させると、「測点表示」ボタンをクリックするか、もう一度「定規一覧」ボタンをクリックするまで一覧表示は消えません。

#	測点	B	測点	B	定規No.	L・R・E
1	0	0	5	0	1	E
2	5	0	319	0	3	L
3	95	0	310.000	0	2	L
4	0.000	0	290.000	0	1	R
5						
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						
16						
17						
18						
19						
20						

測点参照 定規一覧 出力設定

① L・R・E選択 L R E

② 定規一覧

※ [測点参照]で測点を選択すると、「初期設定」に基づいて測点を変換してセットします。

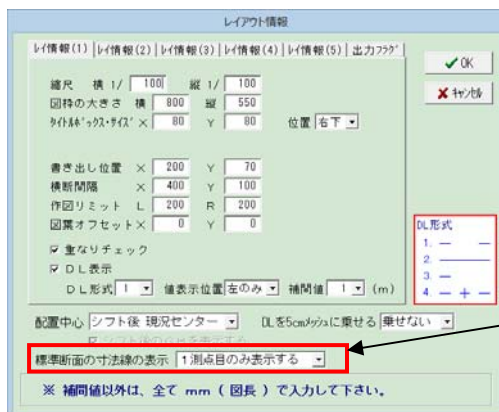
改定内容・機能説明

(平成26年6月)

○ [図面作成]

・ [横断面]

- ・ 文字サイズ・文字幅のどちらかに 0.0 が設定されたデータがあった場合、CAD変換時にエラーが発生するのを修正しました。
- ・ [条件設定] - [レイアウト情報] で、標準断面の寸法線表示の初期設定を追加しました。



全測点表示しない
1 測点目のみ表示する
全測点表示する
から選択。

- ・ [レイアウト] - [全自動レイアウト] で、Insert キーでの行の追加が可能になりました。
- ・ 各図葉を開いた状態で表示測点の「前図葉へ移動」や「次図葉へ移動」を行うと次回横断面を開いた際にエラーが発生し、作図できなくなる事象の修正を行いました。

・ [縦断面]

- ・ [設定] - [各種設定] の、
 - ・ [初期設定] に文字の重なり間隔の設定を追加しました。(初期値=1.00mm)



- ・ [パーティカル] にパーティカルの開始・終了測点表示の ON/OFF 機能を追加しました。



※ FHを設定した測点は表示されます。
※パーティカルの開始・終了測点が縦断面測点に存在しており、出力フラグが ON の場合は、出力の有無にかかわらず測点は表示されます。

- ・ ブレーキが設定されていた場合、ブレーキ以降の曲線が正しい位置に表示されない事象を修正しました。
- ・ 実際にはデータが存在しない項目 (側溝 EL など) を段組みに組み込んでいた場合に、エラーが発生していたのを修正しました。

改定内容・機能説明 (平成26年6月)

○ [図面作成]

・ [平面図]

- ・「排水」の描画で「センターシフトを無視する」の設定が効いていなかったのを修正しました。
- ・「幅員」・「排水」入力で、測点名称欄・測点欄をカーソル移動する時に測点を自動計算していましたが、自動計算の有無の設定を追加しました。

※各入力画面で『測点名称 ⇄ 測点を自動調整する。』に

- ・チェックを入れた場合 → 従来通り、測点を自動計算してセットします。
- ・チェックを外した場合 → 測点名称・測点のどちらかが空白の場合は自動計算し、データが存在している場合は自動計算しません。

- ・「幅員」・「排水」入力の [設計 I0 から引用] で、『平面 I0』の曲線幅も引用できるようになりました。

- ・ [設定] - [旗上げ設定] で、出力チェックの「全て ON/OFF」ボタンを追加しました。



- ・ [設定] - [曲線表設定] で、『表イメージ』の参照を追加しました。

